



Daigasグループ 2024年3月期 第1四半期決算 プレゼンテーション資料

2023年7月31日 大阪ガス株式会社

I. 24.3期第1四半期決算と見通しの概要	- 2	II. 24.3期第1四半期決算の対前年比較	- 8
• 24.3期第1四半期決算のポイント	- 3	• 24.3期第1四半期決算の対前年比較	- 9-13
• 24.3期第1四半期決算の対前年比較	- 4	III. 24.3期見通しの対前年比較	- 14
• 24.3期見通しのポイント	- 5	• 24.3期見通しの対前年比較	- 15-19
• 24.3期見通しの対前年比較	- 6	IV. 補足情報	- 20
• 成長投資の実績と見通し	- 7	• 通期見通しに対する主な収支変動要因	- 21

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記のURLで、決算短信、統合報告書、ファクトブック、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。
<https://www.daigasgroup.com/ir/>

「実績」に関する注意事項：当社は24.3期からグループ通算制度へ移行するため23.3期末の税効果会計の計算をグループ通算ベースで行っています。

「見通し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

国内ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。名張近鉄ガス・新宮ガスは12月決算です。

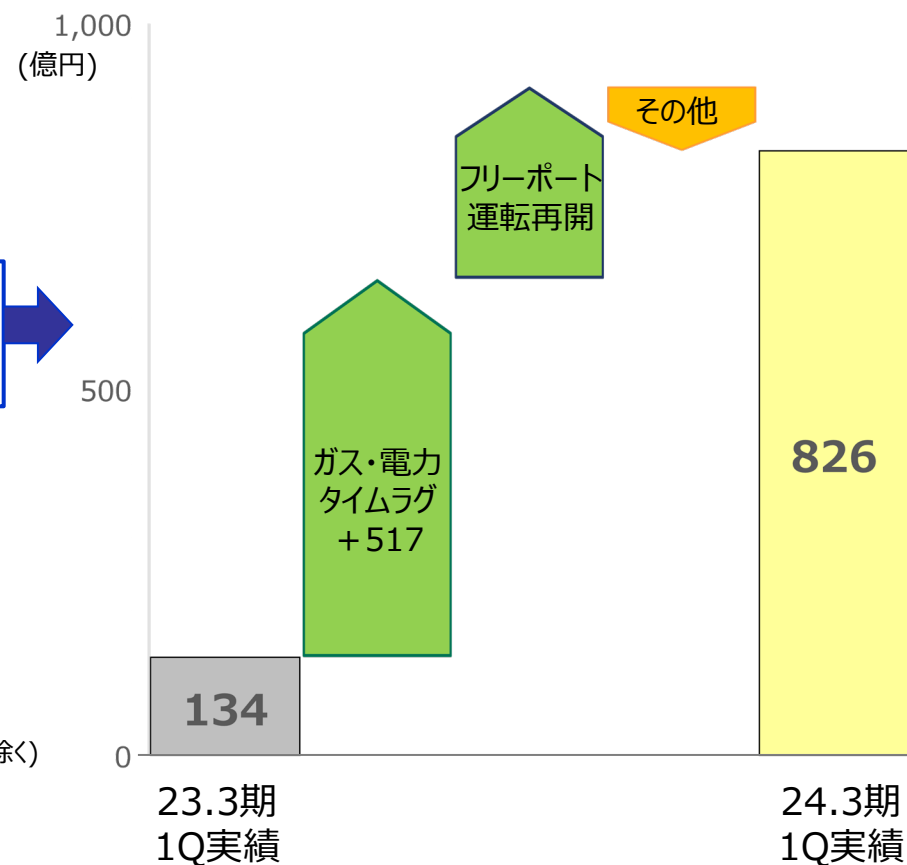
I . 24.3期 第1四半期決算と見通しの概要

24.3期 第1四半期決算のポイント

- ✓ 売上高は、国内エネルギー事業でガスの販売価格が高めに推移したこと等により、前年に比べて増収。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、タイムラグ差損益の改善や、フリーポートLNG液化基地の運転再開等により、前年に比べて増益。

経常利益 前年差(+692億円)の概要

(億円)	24.3期 1Q実績	23.3期 1Q実績	前年差
売上高	5,126	4,671	+454
経常利益	826	134	+692
親会社株主に 帰属する 当期純利益	605	112	+493
ROIC *1	2.6%	0.6%	+2.0%



*1 ROIC(投下資本利益率) = NOPAT / 平均投下資本 × 100
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

24.3期 第1四半期決算の対前年比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)

**経常利益
前年差
+692億円**
134→826

**国内エネルギー
+705億円*1**
-124→581

タイムラグ +517 (-194→323)
 ガス+351 (-119→231) 電力+166 (-74→92)
ガス事業粗利 ▲141 (669 →528)
 - JLCと比較した当社長期契約LNGの競争力低下
 + フリーポートの運転再開(当社顧客向け)*3
電力 +44 (58→103)
 + 需給調整市場の利益増
 - 石炭価格下落等による当社電力の競争力低下
その他 +283 (-656→-373)
 + フリーポートの運転再開(他社向け)*3
 - LNG販売の減益

**海外エネルギー
▲73億円*1,2**
212→138

Osaka Gas USA ▲31 (111→79)
 - フリーポート停止に関連する損失(オーナー側の損失)*4
Osaka Gas Australia ▲33 (56→23)
 - 上流事業の減益
その他 ▲8 (45→36)
 - フリーポート停止に関連する損失(オーナー側の損失)*4
 + 北米IPP事業の増益

**ライフ&ビジネス
ソリューション
▲1億円*1**
50→49

その他+62億円
-5→57

セグメント調整額 +20 (-8→12)
営業外損益 +41 (3→45)

- 原油価格▲26.8 \$ /bbl (110.8→84.0)
- 為替レート+7.8円/ \$ (129.7→137.5)

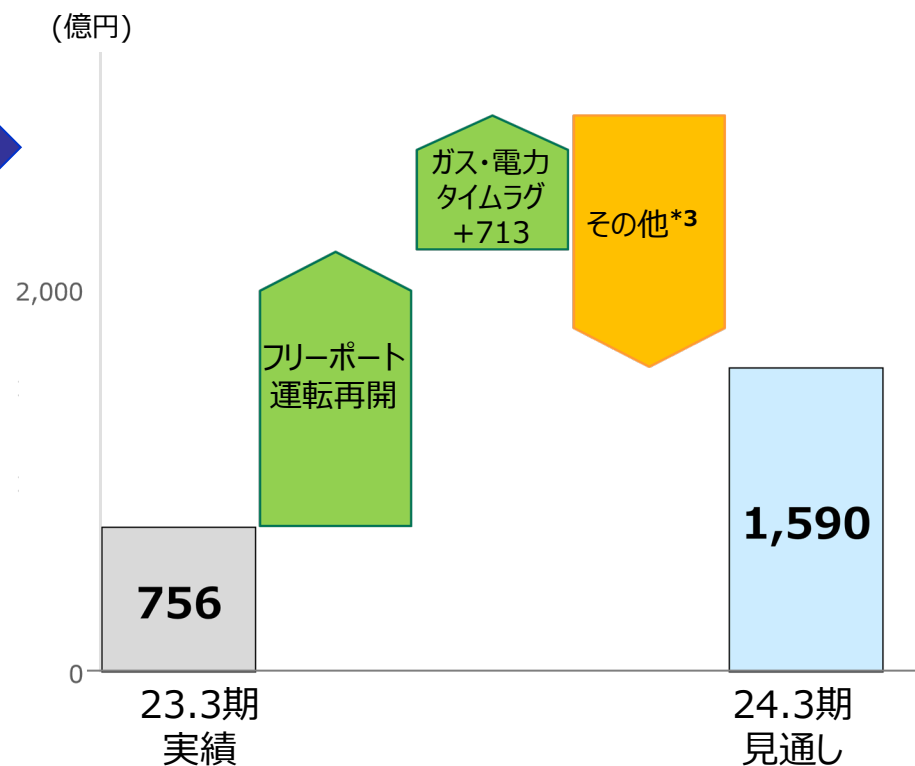
*1 セグメント利益影響
 *2 デリバティブ時価評価影響 ▲17(30→13)を含む
 *3 前年1Qに計上したフリーポート停止に関連する損失の反動 +314億円
 *4 当年1Q(23年1-3月)のフリーポート停止に伴う収入減影響

24.3期 見通しのポイント

- ✓ 24.3期見通しは、5月公表の業績予想から変更なし。
- ✓ 売上高は、原料調達価格の低下に伴いガス販売単価が低下すること等により、23.3期に比べて減収となる見通し。
- ✓ 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、フリーポートLNG液化基地の運転再開やタイムラグ差損益の改善等により、23.3期に比べて増益となる見通し。
- ✓ 配当額は、5.0円増配の65.0円を目指す。

(億円)	24.3期 通期見通し	23.3期 通期実績	前年差
売上高	20,170	22,751	▲2,581
経常利益	1,590	756	+833
親会社株主に帰属する当期純利益	1,160	571	+588
ROIC ^{*1}	5.4%	2.7%	+2.8%
自己資本比率 ^{*2}	50.5%	52.5%	▲1.9%
D/E比率(倍) ^{*2}	0.59	0.60	▲0.01
配当額(円/株)	65.0	60.0	+5.0

経常利益 前年差(+833億円)の概要



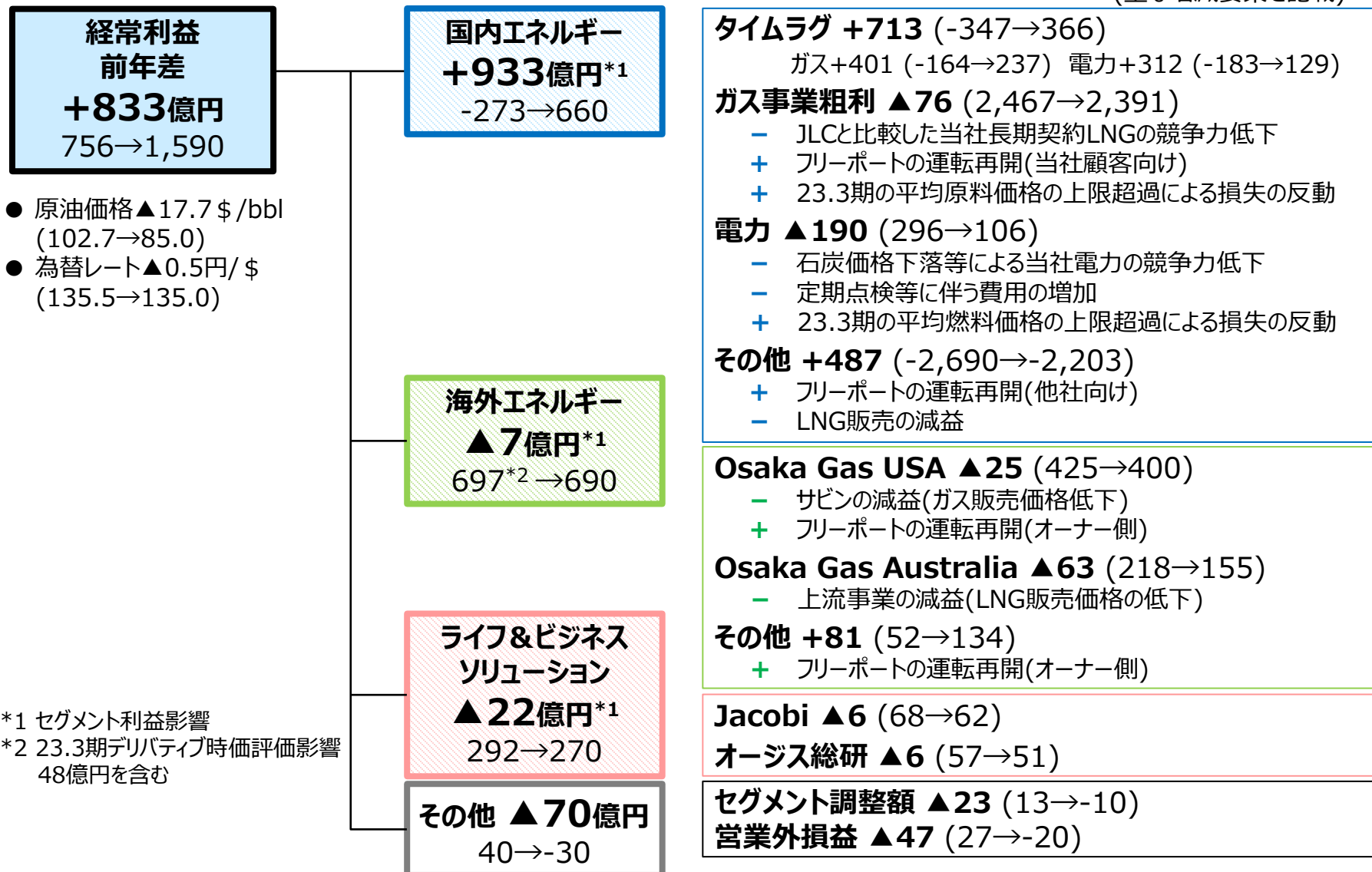
*1 ROIC(投下資本利益率) = NOPAT / 平均投下資本 × 100
 投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

*3 JLCと比較した当社の長期契約LNGの競争力低下等、主に市況要因

24.3期 見通しの対前年比較(経常利益)

(主な増減要素を記載)



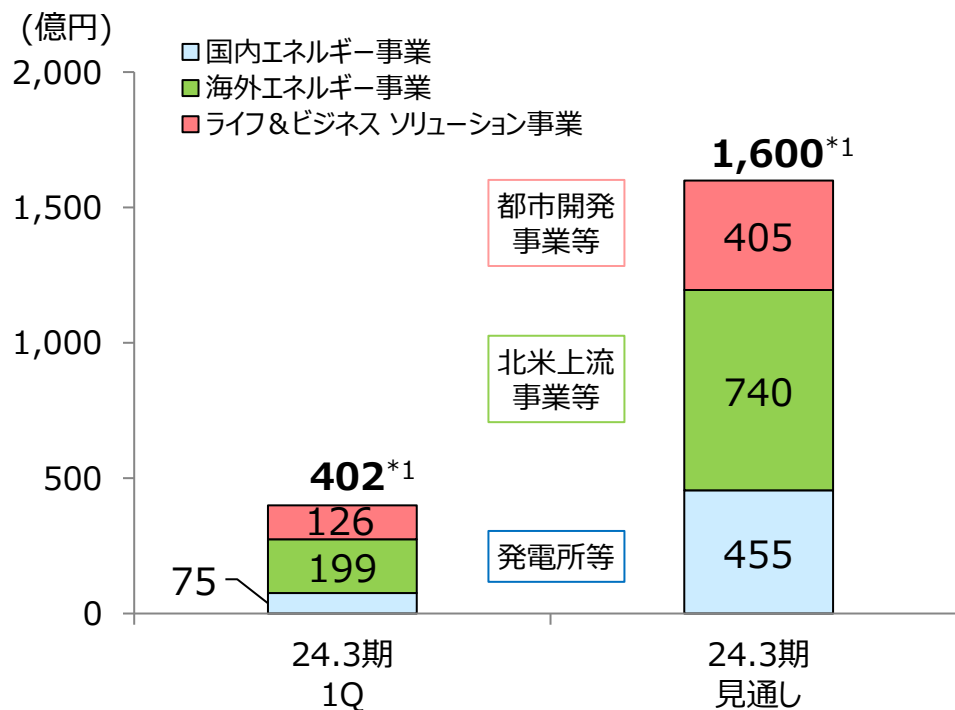
- 原油価格▲17.7 \$/bbl (102.7→85.0)
- 為替レート▲0.5円/\$ (135.5→135.0)

*1 セグメント利益影響
*2 23.3期デリバティブ時価評価影響
48億円を含む

成長投資の実績と見通し

- ✓ 24.3期第1四半期の成長投資額は、402億円。
- ✓ 財務健全性は、中期経営計画で示す「自己資本比率50%程度、D/E比率0.7程度」を確保。

成長投資



*1 成長投資額には設備投資案件以外に出資・融資案件を含むため、設備投資額とは異なる

財務健全性指標

発行済ハイブリッド社債1,750億円の資本性50%を調整。
括弧内の数値は調整前。

	23.3期 期末実績	24.3期 1Q末	24.3期 期末見通し
自己資本比率	52.5% (49.3%)	54.8% (51.7%)	50.5% (47.6%)
D/E比率	0.60 (0.71)	0.58 (0.67)	0.59 (0.69)

Ⅱ. 24.3期 第1四半期決算の対前年比較

24.3期第1四半期決算の対前年比較 - ①売上高、利益等

億円	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	5,126	4,671	+454	+9.7%	ガス販売単価上昇 等
営業利益	736	73	+662	+900.0%	タイムラグ差損益 等
経常利益	826	134	+692	+516.3%	タイムラグ差損益 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	323	-194	+517	-	
(個別)ガス事業	231	-119	+351	-	
(個別)電力事業	92	-74	+166	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	605	112	+493	+440.7%	タイムラグ差損益 等
一株あたり当期純利益(円)	145.7	26.9	+118.7	+440.7%	
EBITDA ^{*2}	1,067	406	+661	+162.5%	タイムラグ差損益 等
NOPAT ^{*3}	626	139	+486	+348.3%	タイムラグ差損益 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	84.0	110.8	-26.8	24.3期実績は6月速報値までの平均
為替(円/\$)	137.5	129.7	+7.8	

24.3期第1四半期決算の対前年比較 - ②資産等

億円	A. 24.3期 1Q末実績	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	28,392	28,195	+196	
自己資本	14,692	13,914	+777	
一株当たり純資産(円)	3,534.5	3,347.3	+187.2	
有利子負債	9,899	9,815	+84	
ハイブリッド社債	1,750	1,750	±0	

	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	備考
ROIC ^{*1}	2.6%	0.6%	+2.0%	タイムラグ差損益 等
ROE	4.2%	0.9%	+3.4%	タイムラグ差損益 等

*1 ROIC (投下資本利益率) = NOPAT / 平均投下資本 × 100

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高 (当社にリスクのないリース負債除く)

	A. 24.3期 1Q末実績	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	51.7%	49.3%	+2.4%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	54.8%	52.5%	+2.4%	
D/E比率	0.67	0.71	-0.03	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	0.58	0.60	-0.02	

*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

24.3期第1四半期決算の対前年比較 - ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	備考
品質向上投資	125	114	+10	
成長投資	402	348	+53	
国内エネルギー	75	82	-6	
海外エネルギー	199	176	+23	
ライフ&ビジネス ソリューション	126	89	+37	
設備投資	453	369	+83	
減価償却費（のれん償却費を含む）	286	275	+10	

億円	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	備考
フリーキャッシュフロー ^{*1}	577	-806	+1,383	

*1 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

24.3期第1四半期決算の対前年比較 - ④件数、販売量等

	A. 24.3期 1Q末実績	B. 23.3期 1Q末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,101	9,899	+202	+2.0%	
ガス供給件数(千件)	5,024	5,004	+20	+0.4%	
低圧電気供給件数(千件)	1,743	1,649	+94	+5.7%	

	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m3) ^{*1,2}	1,535	1,664	-129	-7.7%	
家庭用	376	390	-14	-3.7%	
業務用等	1,160	1,274	-115	-9.0%	
国内電力販売量(百万kWh) ^{*2}	2,860	3,391	-531	-15.7%	
小売	1,272	1,216	+56	+4.6%	
卸等	1,588	2,175	-587	-27.0%	

	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	備考
平均気温(°C)	19.9	20.4	-0.5	

*1 45MJ/m3

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」第103-2項に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

24.3期第1四半期決算の対前年比較 - ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 1Q実績	B. 23.3期 1Q実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	5,126	4,671	+454	+9.7%	
国内エネルギー	4,446	4,006	+440	+11.0%	ガス販売単価上昇 等
海外エネルギー	220	278	-57	-20.7%	
ライフ&ビジネス ソリューション	590	560	+29	+5.3%	
調整	-131	-174	+42	-	

セグメント利益 ^{*1}	781	130	+650	+497.7%	
国内エネルギー	581	-124	+705	-	タイムラグ差損益 等
内、電力	195	-16	+211	-	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	138	212	-73	-34.7%	リーポートLNG ^o 装置 ^o 以外の減益 等
ライフ&ビジネス ソリューション	49	50	-1	-2.7%	
調整	12	-8	+20	-	

タイムラグ差損益 ^{*2}	323	-194	+517	-	
(個別)ガス事業	231	-119	+351	-	
(個別)電力事業	92	-74	+166	-	
ヘッジ会計適用外の デリバティブ時価評価影響 ^{*3}	13	30	-17	-57.8%	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

*3 海外エネルギーの内数

Ⅲ. 24.3期 見通しの対前年比較

- ※ 24.3期見通しは、2023年5月8日公表時点から下記項目を除き変更はありません。
 - ・EBITDA(P15) ・減価償却費(P17)

24.3期見通しの対前年比較- ①売上高・利益等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,170	22,751	-2,581	-11.3%	ガス販売単価低下 等
営業利益	1,395	600	+794	+132.5%	LNG調達等に伴う費用減 等
経常利益	1,590	756	+833	+110.2%	LNG調達等に伴う費用減 等
タイムラグ差損益 ^{*1}	366	-347	+713	-	
(個別)ガス事業	237	-164	+401	-	
(個別)電力事業	129	-183	+312	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,160	571	+588	+103.1%	LNG調達等に伴う費用減 等
一株あたり当期純利益(円)	279.1	137.4	+141.7	+103.1%	
EBITDA ^{*2}	2,810	1,927	+882	+45.8%	24.3期 通期見通しは2,645億円から修正
NOPAT ^{*3}	1,267	593	+674	+113.6%	LNG調達等に伴う費用減 等

*1 国内エネルギーの内数

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(のれん償却費含む) + 持分法投資損益

*3 NOPAT = 経常利益 + 支払利息 - 受取利息 - 法人税等

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
原油価格(\$/bbl)	85.0	102.7	-17.7	
為替(円/\$)	135.0	135.5	-0.5	

24.3期見通しの対前年比較- ②資産等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
総資産	29,568	28,195	+1,372	
自己資本	14,071	13,914	+157	
一株当たり純資産(円)	3,385.1	3,347.3	+37.8	
有利子負債	9,726	9,815	-89	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
ROIC ^{*1}	5.4%	2.7%	+2.8%	LNG調達等に伴う費用減 等
ROE	8.5%	4.3%	+4.2%	LNG調達等に伴う費用減 等

*1 ROIC（投下資本利益率） = NOPAT / 平均投下資本 ×100

投下資本 = 自己資本 + 有利子負債残高（当社にリスクのないリース負債除く）

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	備考
自己資本比率	47.6%	49.3%	-1.8%	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	50.5%	52.5%	-1.9%	
D/E比率	0.69	0.71	-0.01	
ハイブリッド社債考慮後 ^{*2}	0.59	0.60	-0.01	

*2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整

24.3期見通しの対前年比較- ③投資、キャッシュ・フロー等

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
品質向上投資	900	650	+249	
成長投資	1,600	1,722	-122	
国内エネルギー	455	536	-81	
海外エネルギー	740	762	-22	
ライフ&ビジネス ソリューション	405	422	-17	
設備投資	2,140	1,953	+186	
減価償却費（のれん償却費を含む）	1,200	1,198	+1	24.3期 通期見通しは1,035億円から修正

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,820	335	+2,484	
投資活動によるキャッシュ・フロー ^{*1}	2,500	2,039	+460	
フリーキャッシュフロー ^{*2}	320	-1,703	+2,023	

*1 見通しは投資額を記載

*2 フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー - 投資活動によるキャッシュ・フロー

24.3期見通しの対前年比較- ④件数、販売量等

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 期末実績	A-B	(A-B)/B	備考
お客さまアカウント数(千件)	10,156	10,021	+135	+1.4%	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
国内ガス販売量(百万m3) ^{*1,2}	6,778	6,845	-67	-1.0%	
家庭用	1,715	1,697	+18	+1.0%	
業務用等	5,063	5,148	-85	-1.6%	
国内電力販売量(百万kWh) ^{*2}	15,620	15,883	-263	-1.7%	

	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	備考
平均気温(℃)	17.3	17.8	-0.5	

*1 45MJ/m³

*2 ガス販売量及び電力販売量は、販売に係る収益を「収益認識に関する会計基準の適用指針」に基づき見積り計上していることから、決算月に実施した検針の日から決算日まで生じた使用量の見積りを反映させたものを記載しております

24.3期見通しの対前年比較- ⑤セグメント別

億円	A. 24.3期 見通し	B. 23.3期 実績	A-B	(A-B)/B	備考
売上高	20,170	22,751	-2,581	-11.3%	
国内エネルギー	16,880	19,716	-2,836	-14.4%	ガス販売単価低下 等
海外エネルギー	1,250	1,232	+17	+1.4%	
ライフ&ビジネス ソリューション	2,770	2,585	+184	+7.1%	
調整	-730	-784	+54	-	

セグメント利益 ^{*1}	1,610	729	+880	+120.8%	
国内エネルギー	660	-273	+933	-	LNG調達等に伴う費用減 等
内、電力	235	113	+121	+106.8%	タイムラグ差損益 等
海外エネルギー	690	697	-7	-1.0%	
ライフ&ビジネス ソリューション	270	292	-22	-7.7%	
調整	-10	13	-23	-	

タイムラグ差損益 ^{*2}	366	-347	+713	-	
(個別)ガス事業	237	-164	+401	-	
(個別)電力事業	129	-183	+312	-	

*1 セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益

*2 国内エネルギーの内数

IV. 補足情報

通期見通しに対する主な収支変動要因

気温・水温影響

変動幅	家庭用ガス販売量への影響
気水温 +1℃	-7%

油価・為替影響

7月以降の下記前提に対して
変化が生じた際の影響額

<前提>

- 原油価格 85 \$/bbl
- 為替レート 135円/\$

変動幅	セグメント	収支影響	経常利益への影響額
原油価格 +1\$/bbl	海外エネルギー	増益	-11.1億円
	国内エネルギー	減益	
為替レート +1円/\$	海外エネルギー	増益	-4.4億円
	国内エネルギー	減益	

